

## W.N. 社会システム学科・2年次

### I. 留学レポート

#### ① 協定留学を目指した理由

留学に関しては、大学に入る前からずっと、大学に入ったら留学したいと思っていました。そして大学のホームページを見ていた時に協定留学を知りました。大学で第二言語を決めるときに、中国語は使う人も多いからちょっとでも話せたらいいなという簡単な理由で選びました。しかし、授業を受けて中国語の面白さに気づき、興味を持つようになりました。

#### ② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

私は初め台湾ではなく、アメリカかカナダに留学したいと考えていました。1回生の秋にサークルが落ち着きだったので、国際課で留学の話を知ったり、留学体験談の話を知りに行ったりしました。そして留学に行くならば、2回生のうちに1年留学したいと思いました。2回生秋スタートの協定留学に申請するためには、留学に行くことと決めた約1か月後の IELTS の試験を受けなければいけなかったため、ほとんど毎日学校終わりに国際課の ESSR に行き勉強し、家に帰ってからも勉強しました。IELTS はスピーキングのテストもあるので、国際課で勧められていたネイティブの先生と一対一で Speaking と Writing の指導が受けられる English Speaking & Writing Support に積極的に参加しました。

なぜ TOEFL ではなく IELTS を受験することに決めたかという点、私は Speaking のテストが一番苦手としていたので、直接の対話形式である IELTS を受験することに決めました。

#### ③ 留学決定から出発までの準備期間

台湾留学に決まってからは、1回生・2回生に受講していた中国語の授業の教科書の復習をしました。

ビザ申請では、大阪にある台日経済文化処に、申請時に必要な書類について事前に電話で確認しました。申請時に「マルチビザ希望」と言ったのですが、「シングルビザで大丈夫」と言われ不安でしたが、台湾入国後 ARC 取得手続き(台湾に到着してから15日以内に必ず手続きが必要)をしに移民局に行けば全く問題ありませんでした。ARC に関しては、静宜大学の国際課で教えてもらうことができます。また ARC 申請時に必要な書類の中の在学証明書と Housing proof は、静宜大学の国際課で入手可能です。

台湾に1年留学する場合、病院での健康診断の書類も提出しなければいけなかったのですが、検査の種類が多かったため、対応可能な病院をネットで調べ、電話でなにが必要か事前に確認しました。

#### ④ 現地到着後

桃園空港に着いたらまず台湾の SIM カードを作りました。留学生用のプランは空港でしか取り扱ってくれないので、着いたらすぐ空港で携帯電話会社に行くことをお勧めします。

そして事前にメールで知らされていた場所で、静宜大学の国際友禅大使 IFB の生徒さん達が出迎えてくれました。そのメンバーの中には英語や日本語を話せる人がいて、困ったことがあればすぐ助けてくれました。空港からは大学まで約2時間バスに乗りました。そのバスの中で色々なことを話してくれていた人がいたのですが、中国語で全部話していたために何を言っているかさっぱりわからず困っていた私を見かねて、席の隣に座っていた中国大陸から来た留学生の女の子が英語で説明してくれました。その子とは今でもずっと仲良しです。そのあと大学に着いてから布団を買いました。

## ⑤ 語学研修期間

### ◆ 語学研修先の施設・環境について

女子寮から語学学校がある建物の Peter Hall までは、約5分で着くことができます。中国語の授業はこの建物の4階でいつも受けていました。冷房はどのクラスにもついているのですが、暖房はついているクラスとついていないクラスがあって、私はついていないクラスだったので、冬はとても寒くコートを着ながら授業を受けている時もありました。

### ◆ 授業内容、課題、試験

大学に着いて約3日後に中国語のテストがあり、そのテストの結果でクラス分けされます。留学当初私は、中国語を全く話すことが出来なかったもので、初めの学期は中国語を頑張りたいと思い、中国語20時間と正規科目3時間を選択しました。中国語20時間の場合は、週5日朝8～12時に授業がありました。中国語の授業が始まって、約1週間は授業変更が可能です。中国語の授業は、8～10時のクラスと10～12時のクラスで先生もクラスメートも違いました。8～10時のクラスの先生は、教科書を進めながらリスニングと発音、例文づくりが中心でした。テストは一課終わるごとに行うという感じでした。そして宿題はありませんでした。10～12時の中国語のクラスは、教科書を進めながら、単語力とグループワークが中心でした。テストは一課ごとのテストと中間テストと期末テストがありました。宿題は例文づくり、作文、単語などがありました。そして中国語のクラスメートは日本人ばかりでした。初めは日本人以外の外国人の人たちとクラスメートになりたくて、中国語センターに聞きに行ったのですが、私の中国語のレベルに合うクラスはこれしかないと言われました。初めは留学したのになんでと思う気持ちもあったのですが、先生が言った中国語の意味を理解しあったり、切磋琢磨しながら勉強できたので、結果的にとても良かったと感じています。2学期目は冬休みも語学学校に通っていたのですが、その時に教えてもらった先生のスピードや教え方がすごく好きだったので、2学期目の初めに中国語センターにこの先生のクラスにしてほしいと言いに行き、その先生に教えてもらうことになりました。授業時間は10～13時でした。授業内容は教科書に沿って単語→用法の説明→グループで作文や例文づくり→一課ごとの単語中心のテスト→一課ごとの用法を使った例文づくり＋リスニングといった内容を、1週間ごとに行う感じでした。また中国語で日本の地方の地理や気候、特産品な

どを紹介したパワーポイントを作ったりしました。宿題は、教科書のワークが中心でした。クラスメートは日本人5人、インドネシア人1人、フィリピン人1人、ロシア人1人、台湾出身だけど日本で暮らしていた子が1人いました。ここに書いたように、授業内容は先生によって様々なので、色んな先生を体験したり、友達の話の聞いたりして、自分で自分に合った先生を見つけて中国語センターに交渉することが大切だと思います。しかし先生はみんないい人ばかりなので安心してください。

## ⑥ 正規科目履修期間

### ◆ 大学の施設・環境について

学内はほんとに広いです。そして坂が多いので、上の方の教室に行くのはなかなかしんどかったです。ちなみに国際センターは、一番上にある Providence Hall の中でした。授業はほとんど Peter Hall で行われます。そして学内には食堂が3か所あり、よく利用していました。個人的には図書館が一番近い静園餐廳が美味しくて、日本食、中華、洋食と様々な料理があるのでお勧めです。女子寮の前の食堂には、コンビニもあってとても便利でした。

また静宜大学の図書館はとても綺麗で、2階では映画を借りて見ることが出来るスペースがあります。たまに映画の上映会も開かれます。勉強できるスペースもたくさんあるので、授業の復習やテスト勉強をするときによく通っていました。

女子寮の近くには、プールや体育館の中にはジムがあり、お金を払えば利用することが出来ます。また体育館の中では、卓球やバドミントンのラケットを無料で借りることが出来ました。

### ◆ 履修科目

#### ・ TRAVEL ENGLISH AND CULTURE

ネイティブの先生によって行われる英語の授業でした。この授業は静宜大学の英文学科の授業のため、履修するのはなかなか難しいのですが、この時は運よく履修することが出来ました。大体30人のクラスで、私1人が日本人、中国大陸からの留学生2人、他はみんな台湾人でした。授業内容は、教科書にそってリスニングや単語の発音を練習したり、例文をペアになって読んだりしました。小テストは4回ぐらいあり、中間テストはグループでプレゼンテーションをしました。

#### ・ 台日比較教育

日本人の先生によって行われる日本語の授業です。授業名の通り、教育に焦点をあてて、みんな教育について考えるような内容でした。中間テストや期末テストはなく、個々でプレゼンテーションをしました。内容は特に決められていなかったのですが、私はルームメイトと台湾の学校生活、授業内容、受験制度についてプレゼンテーションしました。また最後には ppt の宿題がありました。

### ・ CHINESE CULTURE

英語で行われる授業でした。この授業は交換留学生のための授業で、日本人だけでなく、欧米人もたくさんいました。授業内容は、毎回違ったトピックの中国文化について紹介する授業でした。テストは持ち込みありで、授業で紹介されたトピックについての説明や、自分の感想を英語で書くようなものでした。

### ・ EXPERIENCE OF TAIWANESE HISTORY AND CULTURE

中国語や日本語を使って行われる授業でした。この授業は交換留学生のための授業でした。2 回フィールドワークで台中市内に行きました。授業はビデオ鑑賞が多く、見た後には感想を提出する宿題が必ずありました。また個々でプレゼンテーションをしました。私は日本と台湾のお寺の違いについて発表しました。そしてそのプレゼンをもとに 6,000 字のレポートの課題がありました。

### ・ LANGUAGE AND LIFE IN TAIWAN

これも交換留学生のための授業で、日本語で台湾語を学ぶというものでした。授業内容は台湾語の発音練習や、ペアで例文の読み合いをしました。また先生が回ってきてくれて発音のチェックをしてくれました。テストは授業で配布されたプリントの中の発音をチェックという内容でした。

### ⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブ活動はバドミントン部などに見学に行ったのですが、悩んだ末結果的に入りませんでした。でも留学生の中にはテニス部、バレー部、バドミントン部、ギター部などに入っている人が結構いました。

ボランティア活動としては、日本人の先生の授業を受講している台湾人の子達の授業にボランティアとして参加し、日本語を教えたりしました。このボランティアを通して、多くの日本語学科の台湾の友達ことができました。

またこれも日本人の先生の計らいで、農業体験をしたり、原住民の方が住んでいる場所に行ったりしました。現地の方々はとても優しく、料理も凄く美味しくて、とても貴重な体験となりました。

### ⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

留学中はずっと学校内にある寮で暮らしていました。女子寮は 2、3、4 人部屋があるのですが、私は 4 人部屋を選択しました。他の日本人の留学生もみんな 4 人部屋でした。留学当初は日本人留学生の 4 人部屋でした。初めは留学しているのになんで日本人ばかりと思ったのですが、みんないい人たちばかりでとても楽しく生活していました。しかし、寮の部屋を変更できるという知らせが届いたので、せっかく留学に来たのだから台湾人の子と暮らしたいと思い、寮の部屋を変更しました。変更して台湾人 2 人、日本人 2 人となったのですが、あまり台湾人のルームメイトの子と合わなかったため、もう 1 回変更したいといった

ら、変更は1学期に1回らしく、次の学期に新たに変更することになりました。2学期目の部屋も日本人2人、台湾人2人でした。新しいルームメイトの台湾人2人との関係は凄くよかったです。ルームメイトみんなで世間話をしたり、夜ご飯を食べに行ったり、台湾人2人に中国語を教えてもらったりと、とても充実した日々を過ごすことが出来ました。

寮のトイレやお風呂はなかなか汚く、最後まで慣れることはできませんでしたが、仕方ないと割り切っていました。また乾燥機は無料で使うことができ、洗濯機は20円で回すことが出来ます。ベランダは遠いし、干していたら取られることもあると聞いていたので、布団以外は寮の部屋の中で乾かしていました。寮の部屋には暖房はなく、冷房だけでお金はチャージ式でした。なくなったらルームメイトみんなで買うといった感じでした。

食事は朝、昼は学内の食堂、夜は学校の近くのお店に行くことが多かったです。時間に余裕があれば、バスに乗りご飯を食べに行くこともよくありました。台中は10キロ以内だとバスが無料で、結構乗っていても交通費がなかなか減ることがないので、色んなところに行くことが出来ました。食事の料金は高いお店に行くことがなければ、1日約500円で過ごすことが出来ます。

#### ⑨ 長期休暇の過ごし方

冬休みは1月の初旬に成人式に出席するため日本に帰り、1月中旬に中国語の授業を受けるために、台湾に戻りました。冬休みの中国語の授業は2月7日まで1時間185円で受講することが出来ました。担当の中国語の先生は、私のレベルに合ったクラスを考えて先生と相談した結果、冬休み前の先生とは異なりました。

住む場所なのですが、冬休み期間中は女子寮が閉鎖されるということで、台湾に戻って来たら2月7日までは男子寮に住んでいました。男子寮は約3週間で2,230元でした。この時男子寮は男子の階と女子の階に分けられていました。部屋は3人部屋で、申請は冬休みが始まる前にしなくてははいけませんでした。わからないことがあれば、女子寮の先生・男子寮の先生が教えてくれます。

2月7日から女子寮が開く2月20日までは、静宜大学の日本人の先生が手配して下さった、学校内の宿泊所に滞在しました。部屋は4人部屋でした。この宿泊所には色々な国の留学生がいて、新しく友達もでき、とても楽しかったです。2月16日は春節という日本でいうお正月で、2月16日前後は学校の近くのお店が全然開いていませんでした。冬休み期間中は台湾人がみんな実家に帰ってしまい、ほとんどいませんでした。よって積極的に学校の近くに住んでいる台湾人の友達をご飯に誘ったり、一緒に旅行に行ったりしました。

#### ⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

2回生の秋からの留学だったので本格的にはやっていませんが、リクナビ・マイナビに登録し、自分の行きたい企業のインターンシップに応募したり、友達に就活に関わる話を聞いたりしていました。

## Ⅱ. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学中楽しかったことの1つ目は中国語の授業です。日本にいた時も中国語を習っていて、単語を覚えたりするのは好きだったのですが、話すことが全然できなかつたので、台湾での中国語の授業を通して、先生の言っている中国語がどんどんわかるようになってきたのがとても嬉しかったです。

2つ目はたくさん旅行に行ったことです。台湾は比較的小さいため、台中から北の台北までは約2時間半、南の高雄までは約3時間でしかも往復560元ぐらいで行けるので、土日にはぱっと行くことも可能です。せっかく台湾に来たからには台湾を目一杯知って楽しもうと思ひ、休みの間台北、宜蘭、花蓮、屏東、高雄、台南、彰化、南投、新竹、桃園、小琉球と台湾のほとんどを旅行しました。十分のランタンフェスティバルや台北のカウントダウンにも行きました。台湾人の友達と旅行に行った際は、バイクで色んな美味しい店や観光地に連れて行ってくれたりしました。台湾の友達の実家にも遊びに行きました。台湾人はほんとに親切な人ばかりで、行く先々とても嬉しかったです。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

留学中つらかったことは、やはり言語の壁です。一学期目に受講していた英語の授業では日本人が私しかいなかったもので、初めはかなり不安でした。グループにならなければいけない時には、中国語も英語もろくにできなかつたので、なかなか入り込めず、またグループに入れたのはいいものの、プレゼンテーションを考える時に私がいるため相談は英語でさせてしまっていたので、とても申し訳ない気持ちでいっぱいでした。しかし、ここで発言しないのはだめだと思ひ、積極的に発言しました。中国語が話せるようになってきた時は、日本のことを話してきてくれたりしてとても嬉しかったです。

あと寮の部屋で、1回目の変更で一緒になった台湾人2人ですが、帰ってくるのがとても遅かったり、音楽をイヤホン付けずに流したり、クーラーの温度がとても低かったりと大変でした。

あと苦労したことは、聞いた人によって言っていることが様々で、どれが正しいのかわからなかつたことです。今回の留学を通して、自分で直接聞きに行つて確認することが、非常に大事だということがわかりました。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

台湾で驚いたことは、まず交通面で言えばバイクが多い、車間距離がとても狭い、バスの運転が荒い、交通費が安いことです。

台湾人に関して言えば、ほんとに親切な人が多いです。日本人は親切と言われるけれど今回の留学を通して台湾の人から学ばされることが多くありました。バスで言えば高齢者の方が入ってきたら、すぐ譲ったり、誕生日じゃない時でもプレゼントをくれたりしました。

また台湾の子は、週末にはほとんどみんな実家に帰ることに驚きました。

### Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

#### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

留学先の良かった点は、静宜大学の IFB が交換留学生のために様々なイベントを計画してくれることです。また大学内でもよくイベントをやっていました。そして静宜大学には日本語学科があるため、困ったことがあればすぐ聞くことができます。悪い意味では、日本語学科の子たちの日本語のレベルが高すぎるため、つつい日本語になってしまったりすることです。

#### ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは持参しました。図書館にもパソコンはあるのですが、レポートの課題など授業によっては結構あったりするので自分で持っていった方がいいと思います。

あと持って行って良かったものは、水筒、消臭スプレーなどです。台湾にほとんど同じものが売っているので安心して大丈夫なのですが、化粧品などは日本で買うより高かったりするので、日本から持って行った方がいいと思います。

#### ③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

中国語は全然話せなかった留学前に比べて、今は日常会話は話せるようになりました。そしてやはり、留学にあってリスニング能力がすごく伸びたように感じています。今ではアルバイトで、中国語を話す方が来ても対応できるようになりました。英語も伸ばしたいと思っていたのですが、どちらも中途半端ではダメだと思い、中国語一本に絞りました。しかし、英語もリスニングは伸びたと感じています。

#### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学したいと思っている人は、是非留学すべきだと思います！私は留学に行く前、不安ばかり募っていましたが、全然心配することはありませんでした。困ったことがあればみんな助けてくれます。また留学で、色々な国の友達を作ることができ、様々な価値観の人に出会うことが出来ます。そしてもちろん知識も増えます。絶対留学して後悔することはないです！短期滞在だけじゃわからない、その国の良さについて直接触れることができます。私は留学前に台湾に行ったことがあるのですが、その時より台湾がもっともっと大好きになりました。以前は自分の得意なことが思いつかなかったのですが、中国語を話せるようになったことによって、自分に自信を持てるようにもなりました。是非一步踏み出してみてください。台湾本当にお勧めです。

#### IV. 将来の目標

##### ① 今後の進路、将来の目標・夢

台湾留学を通して、やはり自分は海外の方の関わるのが改めて好きだと感じたので、将来は中国語、英語を使って、海外の人と関わることができる職業をしたいと考えています。

#### V. 写真

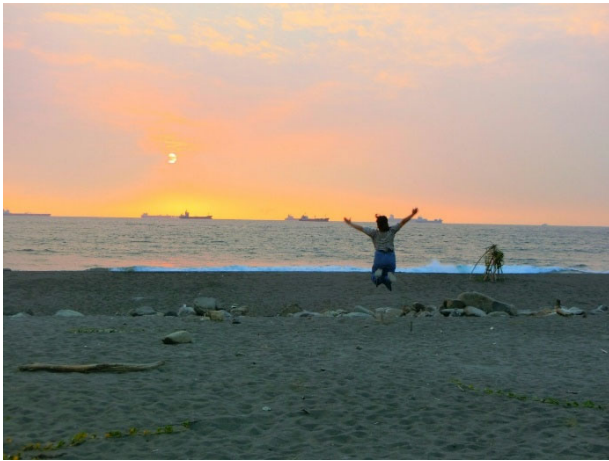


中国語の教室で先生とクラスメートと写真を撮りました。



これは大好きなルームメイトとの写真です。みんながよく一緒にご飯に行きました。





高雄の横にある旗津という島に行って撮った写真です。  
台湾や夕日、海の色がとても素敵ですぐファンになりました。



この写真は台中の有名な高美湿地という場所に行った時の写真です。



これはフェアウェルパーティの様子です。